

学習指導センターだより

第3号〔令和6年6月25日（火）〕

☎949-6680 南魚沼市六日町 865 南魚沼市民会館 2F 南魚沼市学習指導センター
☎025(773)6702 Fax025(773)6703 Mail mgakusen@minamiuonuma.ed.jp
ホームページ URL <http://www3.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=1570003>

南魚沼市学習指導センター

違う分野・立場の人とのつながり

多忙化と言われ教員の生活の大変さが叫ばれるようになってかなりが立ちます。職場と住居の往復だけで疲れ果てている現状をマスコミでは伝えていません。子供と直接ふれあう教員は、豊かな生活を通して様々なことを体験して知り、子供に還元していくことが必要であると思っています。しかし、特に若い先生方の中では難しい状況が多々見られます。これを改善するためには、意識して他分野の方々と交流することが必要です。



東京の中学校教員高野圭先生は、ビジネス書『推し活経済』の著者で大学生である瀬町奈々美さんという方を学校に招いて、子供たちに話をしてもらったそうです。子供たちは、今自分が好きで推している人についてや好きなことについて、笑顔で話していたそうです。聞いていた先生方も「私も推しがいて・・・」など興味を持って聞いてくれた方が多くいたそうです。高野先生は次のように言っています。

違う分野・違う立場だからこそ学べることが多くある。昔に比べて多様化してきた世の中だからこそ、様々な人・考え方に触れる機会をつくりたい。これは、子供に限らず大人にも言えること。教師が家と学校の往復だけをしていると、どうしても「学校の常識」や「自分の常識」がすべて正しく、それ以外は間違っているように感じてしまうこともある。異なる立場の人と話すとき新しい世界が広がる。

「たのしい授業」2024 6月号（株式会社仮設社）より 根津要約

私が開設している応援訪問対象者向けの夏季休業中の講座は、なるべく他業種の方をお呼びしてお話を聞いたり実技をしたりすることを大切にしています。

一昨年の講師は、そばやの女将さん、読み聞かせ、農業主婦、歌手、手芸講師、社会教育委員など多彩な芸を持つ方でした。今年の講師は、小国和紙工房の職人、数々の地で和紙のワークショップを開催、PTAの役員を多数経験、オーストラリアとの交流・長岡造形大学学生との交流をコーディネートなど、こちらも多彩な方です。自分のやっていることが＜好き＞で、どんどん行動する方々です。普通は「そんなこと無理、できないよ。」と思うことも＜好き＞という気持ちと行動さえあれば、変えていくことができるのです。私はこの方々と交流させていただく中で、大きな刺激をいただき、自分の仕事や生活に生かしたり、元気をもらったりすることができました。

南魚沼市・湯沢町の先生方も、ぜひ、様々な方と交流してつながりを持ち、自分の＜好き＞を探してください。そして、その好きなことを大切にいろいろなことに挑戦してみてください。先生方の生活が豊かになり、子供への対応にも必ずいい結果が現れるはずです。楽しい生活、楽しい授業を目指してくださいね。

（文責 根津江美子）

示範授業・講演会から学ぶ（国語）

6月11日(火)に湯沢小学校にて、新潟大学附属新潟小学校の中野裕己教諭から示範授業・講演会を行っていただきました。

示範授業は、4年生の物語文教材「走れ」で行われました。3人の登場人物の性格を捉えるために、「お気に入り」を一人えらぶとしたらだれ！？」を中心課題とし、考えを交流し合う授業でした。一人一人の発言を価値づけ(ほめ)ながら話し合いをコーディネート



し、児童の考えを引き出す姿は、参観者に多くの学びを与えてくださいました。(※示範授業の詳細については、Yフォルダ→02 常用→10 学習指導センター→01 データ共有用→読む力→R6内の「国語示範授業における「読む力」」もご覧ください。)

「対話型国語授業のつくりかたー子供と教材を出合わせる教師の技ー」と題して行われた講演会では、対話型国語授業を行う上でのポイントや教師の出方を中心にお話いただきました。

【対話型国語授業のポイント】

1 判断を問う発問にする

「一番〇〇なのはどれ？」＋そう思った理由は？ と発問する。

(例) 【物語文】一番〇〇な人物は？ 【説明文】一番〇〇な段落は？

2 書きながら話させる

グループで考えを交流する場面では、各グループにホワイトボードを渡し、書きながら話すことができる環境をつくる。

3 共同注視させる

教材を可視化し、部分を指定して、学習者が共に見つめる環境を創る。

(例) ・全体で考えを交流する場面では、発表者は黒板前で、本文を指差しながら発表させる。

・4人グループで考えを交流する場面では、グループに1つ教材文を用意し、全員が同じものを見ながら交流できるようにする。

4 価値づける＝ほめる

授業で子供をほめられるかどうかは教材研究にかかっている。

埋め込められた指導事項をどれだけ教師が見抜いているかが重要である。

参会者からは、「示範授業を見て、中野先生の子供たちの思考を促す発問や、的確な指示等を間近に見ることができてとても勉強になりました」、「授業を参観し、子供たちが教材と向き合い、考えるためには、教師ができることがいろいろとあることに気付きました（発問、音読の仕方、全文をまとめたプリントの用意等）」などの感想をいただき、とても有意義な研修会となりました。参観いただいた先生方からは、学んだことをぜひ自校の先生方にお伝えしたいと思ひます。



最後に、会場校としてご尽力いただいた湯沢小学校の教職員の皆様と子供たちに感謝申し上げます。ありがとうございました。(文責：荒井一人)

※算数と外国語の示範授業・講演会の様子は、7月の学センだよりでお知らせします。

「Q-U の分析と活用法」の研修から学んだこと

5月30日（木）、魚沼市教育委員会から 早川 政宏 指導主事を講師にお招きし、「Q-U の分析と活用法」について研修を行いました。前半は講義で、後半は仮想の学級のWEBQU 結果をもとに実際にグループで演習（事例検討会）を行うことで、理解を深めました。受講者からは、「WEBQU を実施した後、どのように活用していくとよいのかがよく分かりました。事例検討会等を、ぜひ学校でも行ってみたいです」「今回の研修で、校内研修の見通しをもつことができました」など、前向きな声をいただき、充実した時間となりました。



早川指導主事が力強くお話されていたのは、以下の3点です。

- ・「Q-U」は結果が出てからが勝負！
- ・『宝の持ち腐れ』にしない！⇒データの有効活用を
- ・チームで学級づくりを！（一人だけで抱え込まない・悩まない）

これらを踏まえ、魚沼市で行っている事例検討会についてご紹介いただきました。以下は紹介いただいたものの一部です。

○事前準備(グループ内での役割分担、準備するもの)

準備するもの

◆4～6人くらいのグループ

- 役割 ① 司会（ファシリテーター） ② 事例提供者（学級担任）
③ 準備係（必要な用具等）
④ 整理係（対応策シートの付箋を整理する）

- ・一人一台のタブレットかPC（各自がID・パスワードを確認）
- ・「学級づくりシート」（記入の仕方等については次ページ参照）
- ・対応策シート（A1かA2版1枚）
- ・付箋（一人5枚くらい 1学期：黄色 2学期：ピンク）

ストップウォッチが携帯電話を用意(時間を計測できるもの)

できれば事前にデータを見ておくとうい

○事例検討会の流れ

事例検討会の流れ（35分）

- 1 事例検討会の仕の確認（司会） (1分)
- 2 説明と質問（担任→参加者） (12分)
- 3 アセスメントの確認（全員） (4分)
- 4 対応策の検討（司会・事例提供者も考える） (17分)
- 5 事例提供者が取り組むことを発表（担任）→ 拍手！ (1分)

参加者は事前に事例学級の結果を見てアセスメントし、対応策を考えて参加することによって「2・3」を短縮し、「4」に時間をかけることができる。

ここに時間をかけすぎない！

メインはここ！

○「学級づくりシート」

☆学級担任は「1 課題」、「2 取り組んできたこと」、「3 アセスメント(学級担任から見た)」まで記入し、事例検討会に臨む。

自己の実践(指導行動)をふり返って現状の要因を推察する

記入のポイント	
1. 課題	1学期・2学期
2. 取り組んできたこと	1学期・2学期
3. アセスメント(学級担任から見た)	1学期・2学期
4. 対応策	1学期・2学期

○「対応策シート」

☆大きな方針に基づいて、対応策のアイデアを出し合う(一人3枚以上が目標！)

☆1学期で使ったシートを2学期でも使う(付箋の色を変える)

年 組 対応策シート(ルール・リレーション・安定感・活発性をもとに具体的な取組を考える)		
1. 学級方針(基本方針・目標・ビジョン)に 基づいた対応策(1学期・2学期)	2. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)	3. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)
4. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)	5. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)	6. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)
7. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)	8. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)	9. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)
10. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)	11. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)	12. 学級活動の目標設定の取組 (例: 持ち回りの会など)

※学級づくりシートと対応策シートの様式を早川指導主事からいただきました。活用したい学校は、ご連絡ください。

これまでも各学校で Q-U の結果を分析・検討し、学級経営等に活用してきたことと思いますが、改めてその重要性を感じました。「Q-U は結果が出てから勝負!」、ぜひ各校で結果を有効に活用していただきたいと思います。

(文責: 荒井一人)



7月 INFORMATION



★研修講座★ 7月実施の研修講座です。



期 日	コード	研 修 講 座	会 場	開始時間
7月2日(火)	R23	《理科》【野外研修】水生生物観察会 *雨天延期の場合は、午前11時00分までにC4th等で連絡します。4日に延期です。	上田小学校 (集合)	14:00
7月4日(木)	I01	《特別支援教育》 「高等学校と高等部」違いを知り、 進路選択をしよう	ふれ愛支援センター 多目的ホール	15:15
7月5日(金)	R14	《理科》【重点単元別研修】 小6単元「てこのしくみとはたらき」	北辰小学校	15:00
7月5日(金)	G02	《小中学校共通講座》 学級経営をする上で大切なこと ～今求められる学級経営力とは?～	市民会館 実習室	15:00
7月11日(木)	E01	《小・中学校 外国語活動・国際科・ 外国語》授業力向上研修(小学校編)	城内小学校	13:45
7月29日(月)	R05	《理科》【学年別基本研修】 小3 年間授業の進め方(後期)	北辰小学校	15:00
7月30日(火)	R06	《理科》【学年別基本研修】 小4 年間授業の進め方(後期)	北辰小学校	15:00
7月30日(火)	M04	《GIGAスクール》 情報モラル教育研修	市民会館 実習室	15:00
7月31日(水)	R07	《理科》【学年別基本研修】 小5 年間授業の進め方(後期)	北辰小学校	15:00
7月31日(水)	I02	《特別支援教育》 教室の中にいる困り感のある 児童生徒への理解と支援	ふれ愛支援センター 多目的ホール	13:30

★学校訪問★ 7月の計画訪問・要請訪問の予定です。



期日	学校名(教科等)	期日	学校名(教科等)
7月1日(月)	浦佐小(算)	7月10日(水)	六日町小(国)
7月3日(水)	おおまき小(国)	7月11日(木)	石打小(理:野外活動)
7月5日(金)	五十沢小(外)、後山小(国)	7月17日(水)	湯沢中(国)、石打小(理)
	赤石小(理)	7月25日(木)	石打小(算)
7月8日(月)	上田小(国)、城内小(算)		